

としょかんだより だい第3号



令和6年6月18日発行



6月23日は慰霊の日です



慰霊の日には沖縄県が特別に定めた休日です。沖縄戦は1945年3月26日にはじまり、はげしい戦いになりました。6月23日はその日本軍のトップであった牛島満司令官が自決した、とされる日で組織としての戦争が終わった日とされています（6月22日という説もあります）。

しかしその後も戦争は続き、米軍が沖縄作戦終了と宣言したのは7月2日、降伏調印式を行ったのが9月7日となっています。沖縄戦で亡くなった人数は20万人を超えています、そのうち、約半分にあたる9万5千人が軍人ではなく、一般住民でした。沖縄県全体の4人に1人が亡くなったそうです。

6月23日の慰霊の日において、沖縄戦について、調べたり考えたりしてみましょう。

図書館では沖縄戦のほかにも、ヒロシマやナガサキでのこと、外国の戦争をあつかった本もたくさん紹介しています。ぜひ読みに来て下さい。

また、みなさんの住む近くでも沖縄戦をかんじる事のできる場所もあります。

それは首里城です。首里城の地下には第32群司令部壕の跡があります（先ほどの牛島司令官が指揮をとっていました）。一般には公開されていませんが壕の入口は見る事ができます。

龍潭の向かいにある沖縄県立博物館跡の石積みの壁にも、銃弾のあとが今も残っています。

散歩しながら見に行ってみてはいかがでしょうか。おじいちゃんやおばあちゃんからお話を聞いてみるのもおすすめです。身近なところに沖縄戦を学べる場所はたくさんあります。

そして学んだことは、お友達や先生にもぜひ教えてください。

私たちの未来に二度と同じような事が起こらないよう、平和な世の中をみんなでつくっていきましょう。

おすすめの本



6がつ そら みやもり 6月の空 宮森630



マンガで伝える 沖縄戦



ヒロシマ 消えた家族



ゴンドールのやさしい光



教えて池上彰さん 沖縄から考える戦争と平和